

2021年12月2日

投資家の皆さまへ

アムンディ・ジャパン株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

トルコでは年初来インフレ率が上昇しており、9月には20%近くに達したにもかかわらず、9月以降政策金利が3回引き下げられたことなどから市場の信頼感が悪化し、トルコリラの下落基調が続いています。11月23日には同国のエルドアン大統領が一段の利下げを擁護する姿勢をみせたことでトルコリラはユーロに対して一日で10%を越す下落を記録しました。翌24日に大幅反発となったものの、25日以降は新型コロナウイルスの新たな変異株に対する懸念などから下落が再加速しました。30日に発表されたトルコの7-9月期実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比7.4%の成長を記録しましたが、エルドアン大統領が再び大幅な利下げを示唆したことから市場の信頼感は回復せず、トルコリラは大幅続落となりました。12月1日には、トルコ中央銀行が通貨安定のために為替市場に介入を行った模様ですが、依然として不安定な動きが続いています。

このような状況を受け、以下の弊社ファンドの基準価額（12月1日）は前日比5%以上の下落となりました。

基準価額および前日比騰落幅・騰落率 （2021年12月1日現在）

ファンド名	基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
アムンディ・リソな米国ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）	1,661	-106	-6.00
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）＜年2回決算型＞	5,865	-373	-5.98
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）	1,128	-71	-5.92

決算日に該当したファンドについて

- ・騰落率・騰落幅については、分配金を加算した基準価額を用いて計算した数値を表示しています。
- ・基準価額は、分配金落ち後の基準価額を表示しています。

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

<ご注意>

上記に記載しているリスクにつきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクは、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社（以下、弊社）が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

<1942630>